

## 公立大学法人長岡造形大学第3期中期計画（案）の特徴

### 1. 第2期中期計画における実績の概要

第2期中期計画においては、計画期間当初に発生した新型コロナウイルスの感染拡大に対して安全に教育研究を継続するため、組織を挙げて対策に取り組むこととなった。

この終息と並行して、「教育研究体制の見直しとカリキュラムの改編」「地域の課題解決への取り組みと NaDeC 構想の推進」「新しい教育研究体制の拠点となるキャンパス整備」の3点に注力してきた。

時代の変化とデザインに対する社会の要請にさらに対応できる人材の育成に向けて、新たな学部3ポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシー）を策定し、デザイン学科の新設を伴う新たな教育研究体制、「造形・表現」と「問題発見・解決プロセス」としてのデザインを体系的に学修するための新たなカリキュラムを開始した。

また、地域協創センターを窓口にした地域企業等との受託・共同研究や地域課題解決をテーマにした授業の実施とともに、NaDeC 構想に基づく産学連携の取組など企業や自治体等との連携を積極的に進めた。

さらに、映像やプロトタイピング等にかかる先端的機器を備える第4アトリエ棟を建設し、教育研究の充実を図った。

### 2. 第3期中期計画（案）における主要項目

#### （1）拡大・多様化するデザインに適応した有為なグローバル人材の輩出

- ・建学の理念や3ポリシーに基づき、時代や社会の要請に対応する学部・大学院での教育の実施
- ・新しい技術の活用など多様な教育研究の実施
- ・競争的外部資金の活用など研究活動の充実

#### （2）地域振興、産業振興、文化振興の推進

- ・長岡地域定住自立圏域内への就職など学生の地元定着に向けた取組
- ・長岡地域定住自立圏域内からの入学者の増加に向けた高大接続の取組
- ・自治体や企業等と連携・協力した共同・受託研究やニーズに応じた各世代に対するデザイン講座等の実施

#### （3）明日も集いたくなる大学の実現

- ・学生の多様な事情への適切な配慮、金銭的な負担の軽減や心身の健康維持の支援
- ・学生の意欲に応じた学内制度の運用や経済的支援
- ・教職員の法令遵守や倫理観の涵養、業務運営上のリスク対応
- ・十分な志願者数と入学定員の充足、外部資金の活用など安定的な収入確保